

マザアス東久留米(特別養護老人ホーム)研修会実施

日時 2009年7月30日午後6時～7時

会場 マザアス東久留米

職員 42名

内容 AEDを使った心肺蘇生法の実技指導

指導者 当会員(川島、岸川、小山、田村)

使用器具 心肺蘇生法訓練用人形2体とAEDトレーナー2機

レジメ使用(応急手当の目的、必要性、カーラーの救命曲線、チェンオブサバイバル、心肺蘇生法等)

今回始めて出前講座を行いました。最初の出席者予定は20名位と聞いておりましたので、人形を2体準備すれば1時間で何とか出席者全員に実技体験をしてもらえると予定しました。ところが、担当者もびっくりの予想外の42名の方々が出席しました。それも仕事を終えての参加です。AEDの普及に伴いAEDへの関心が非常に高くなっていると感じました。皆さん一生懸命に取り組んでいました。あまりにも大勢でしたので、丁寧な指導はできませんでした。通常は1人に1回の電気ショックを与え4サイクルの心肺蘇生法を行って、次の支持がでるとことまでやっていますが、今回は1回の電気ショックを与えた後、胸骨圧迫を2～3回行ってもらったところで終了してもらいました。それで何とか全員に実技体験をもらうことができました。今後の参考として、担当者の方と次回は1回の受講者を20名として人数が多い場合は何回かに分けて開催してもらおうよう要望しておきました。

左記写真は指導者が心肺蘇生法の流れを説明しているところ



胸骨圧迫をしているところ



人工呼吸しているところ



AEDのパッドを貼り心電図を測っているところ



胸骨の圧迫をしているところ



気道を確保して呼吸の確認をしているところ



電気ショックを与えるところ